

高知カツオ県民会議 第5回カツオ食文化分科会 議事録

場 所 (株)丸三会議室

開催日 11月13日 14:00～15:00

参加者

(株)丸三 岡内啓明	(株)ノーベル 木村祐二
和建設(株) 中澤陽一	高知県調理師連合会 大下正治
(株)エースワン 天羽智彦	高知商工会議所青年部 西村修一
土佐鶴酒造(株) 南部孝治	キリンビール(株) 大石恭三
高知中央市場鮮魚仲卸協同組合 徳廣好彦	ザ・クラウンパレス新阪急高知 中西克行
高知カツオ県民会議事務局(高知広告センター) 松岡洋介	
食文化分科会 事務局(丸三) 別府康高	合計 12名

(前回までの振り返り)

当分科会のテーマについて

- ①カツオの「うんちく」小冊子の発刊
- ②カツオマイスター制度の創設
- ③カツオ出汁の研究

以上3つが分科会のテーマである。①については、高知の食を考える会で進行中の「かつおうんちく辞典」の作成を支援する。③については、広く体系立てて調査研究をすることになるが、時間的制約もあり一旦保留とする。②カツオマイスター制度の枠組み案を今期仕上げる。

(協議内容)

- ◆ カツオマイスターをどのような考え方で、また誰を対象として制度化していけばよいか？

鹿児島県枕崎市のカツオマイスター検定の場合は一般向けである。

では、カツオ日本一の高知のカツオマイスターは？

【出席委員からの案】

(案1)

対象を飲食店に限って審査し、カツオマイスターを付与する。審査方法は、県民総選挙方式をとる。つまり「あなたの選ぶカツオマイスターの店」を県民全体投票で決めるということ。そうすることで、広く県民に高知のカツオは日本一を意識させることができる。

デメリットとして、無作為の投票で偏った結果になる。街中の店舗は票が集まりやすいが、田舎の店舗や、知る人ぞ知る路地裏の名店には光が当たりにくいという意見があった。

(案2)

カツオ県民会議という県民全体へこの活動を広げていくという趣旨から、対象をカツオ関係者から一般の消費者まで、全体とする。また、検定を受けるという意味では枕崎市と同様の方式だが、日本一のカツオ県として、より高度で高いものさしを持っている制度を目指す。マイスター取得希望者は、カツオ学講座のような講義を受けて、カツオの歴史、カ

ツオの生態、調理方法、栄養学などカツオ全般の知識を得ることとし、資格試験に合格して取得できる学位のような制度にする。

(案3)

認定機関をつかって、認定委員が店舗を調査する。ミシュランのような評価をおこなって、優良店にはカツオマイスター認定書を発布し、店舗としての格が上がるカツオマイスター認定店舗といった表示ができる制度を目指す。

なお認定委員の選考が課題である。また、高知の食を考える会で同様のアンケートをおこなった事例では100人いれば100店舗のおすすめ店があるのが高知の飲食店の実態であった。カツオを提供する店の数を考えると、物理的に審査できるのかという課題もある。

(案4)

カツオ業界で高知県は、漁師、仲卸、調理師、消費者、すべてナンバー1である。その日本一のカツオ県の店舗は、すでにカツオマイスターの称号を持っているのと同じ価値がある。よって、高知県でカツオを扱う関係者の皆さんは、全員カツオマイスターに認定する。また一般消費者への認定は、カツオパスポートを作って、カツオマイスターの店でカツオ料理を食べてスタンプを集めてもらい、スタンプの数に応じてマイスター認定をする。

上記案やそこから派生する案などが多数協議され、大筋の合意を得られた考え方は以下の通りである。

カツオマイスター制度を2つに分けて考える。

- ① 広く県民が消費者の立場で参加できる検定(枕崎市を手本に高知風の味付けをする)
- ② プロフェッショナル用の検定

①の検定は、一般の方に「カツオが大事で、なくてはならないもの」と感じてもらい、またその気にさせる。興味を持ってもらうことが狙い。検定で肩書がつけば、本人もその周りもカツオに触れるきっかけになる。検定にランクをつけて誰もが取得できるチャンスがある、また挑戦してもらえるような仕組みにする。

例えば、「高知県に住民票がある」ことで10級合格、「カツオを食べた経験がある」ことで9級合格というような簡単なものから、インターネット上で検定試験を受けることができる仕組みなども考えられる。他に、観光客にたたき体験をしてもらった時や学校の食育授業でたたき体験をしてもらった時に、カツオマイスター5級合格など、様々な局面で活用できる検定にしたい。また年一回カツオ検定チャンピオン大会を実施するなど幅を広げることで、カツオといえば高知という認知度の向上に貢献できる。

②の検定は、カツオマイスターの趣旨に賛同していただくことを認定の条件とする。

高知県のカツオは日本一である。高知でカツオを出す店は、全店舗カツオマイスターの店といって過言ではない。知識、目利き、調理技術そのどれを取っても高知はナンバー1である。趣旨に賛同していただいた店にはカツオマイスター認定の店、高知のカツオは日本一という看板を出して商売していただき、カツオといえば高知ということを県内外に発信する。カツオマイスターの自覚、看板がさらに技術、知識を自発的に高める。

以上が、合意を得られた内容である。①の検定試験の製作及び、②のバッジや看板といった販促物の制作は高知県水産振興部漁業振興課に相談をする。

【 今後の日程 】

カツオ県民会議 拡大幹事会及び忘年会

12月25日(月曜日)

16:00～18:00 拡大幹事会

18:00～ 懇親会

場所 土佐料理 司